

あなたの身近に潜む 慢性腎臓病（CKD）

～慢性腎臓病（CKD）予防の普及啓発キャンペーン実施中～

毎年3月の第2木曜日（平成29年は3月9日）は、「世界腎臓デー」です。相模原市では、この「世界腎臓デー」に合わせて、慢性腎臓病（CKD）予防の普及啓発キャンペーンを交通機関や商業施設などに協力いただきながら市内各所で実施しています。

慢性腎臓病（CKD）は、近年、**成人の8人に1人**が、気づかないうちにその状態になっているという身近に潜む病気です。重症化すると、人工透析や腎移植が必要となる場合もある恐ろしい病気ですが、生活習慣病が原因となることが多く、進行の予防ができる病気です。

● 実施方法、場所、期間

実施方法	場所	期間
神奈中グループバス会社 バス車内でポスター掲示	相模原営業所、橋本営業所、 津久井営業所管内のバス	平成29年2月20日から 3月31日まで
啓発ブースの設置	ウェルネスさがみはら内 1階ロビー	平成29年3月1日から 3月10日まで
パブリックインフォメーション （大型放映機器）への掲載	相模大野駅北口の ペDESTリアンデッキ	平成29年2月1日から 3月31日まで
大型ビジョンへの掲載	イトーヨーカドー 古淵店	平成29年2月1日から 3月31日まで



ウェルネスさがみはら内 啓発ブース



神奈中グループバス会社 バス車内のポスター

こんな自覚症状はありませんか？

- ✓ 顔や足がむくむ
- ✓ だるさを感じる
- ✓ 食欲がない
- ✓ 尿に濁りがある

下記の健診結果に異常はありませんか？

- ✓ 尿検査(特に「たんぱく」)
- ✓ 血圧値
- ✓ クレアチニン値
- ✓ GFR(糸球体ろ過量)

どきとした人は
慢性腎臓病(CKD) かもしれません

— 成人の8人に1人とされています —



慢性腎臓病は腎機能が低下した状態で、重症化した場合、人工透析や腎移植が必要となります

詳細は、相模原市ホームページ内で

慢性腎臓病 🔍 検索



相模原市保健所 健康企画課

バス車内等で掲載しているポスター

慢性腎臓病(CKD)とは

腎機能が低下し、その低下が一定期間以上続く状態の病気です。慢性腎臓病(CKD)の原因の多くは、肥満・喫煙・多量飲酒等の生活習慣の乱れによる糖尿病・高血圧症・脂質代謝異常症・メタボリックシンドローム等の生活習慣病です。重症化すると、人工透析、腎移植が必要になる場合もあり、日々の生活を大きく変化させてしまう恐れがあります。平成27年末には、約32万人が人工透析治療を受けています。

また、脳卒中や心筋梗塞などの心血管疾患発症の危険性も極めて高くなるといわれています。進行の予防には、定期的に尿検査や血液検査等の健診を受診し、健診結果を確認することが大切です。

「世界腎臓デー」とは

腎臓病の早期発見と治療の重要性を啓発する国際的な取組として、国際腎臓学会と腎臓財団国際協会の共同で「世界腎臓デー」が提案されました。毎年3月の第2木曜日に実施しており、平成29年は3月9日です。

問い合わせ先
健康福祉局 保健所 健康企画課
042-769-8322(直通)